

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和6年度第2回伊勢崎市いせさきGX推進市民協議会
開催日時	令和6年10月30日(水) 10:00~11:20
開催場所	清掃リサイクルセンター21 管理棟3階 大会議室
出席者氏名	(委員) 松島会長、神部副会長、都丸委員、黒津委員、齋藤委員、篠崎委員、澁澤委員 (伊勢崎市) 深澤環境部長、塩島環境部副部長、横堀GX推進課長(事務局) 桑名課長補佐、谷川主査、久保主査
傍聴人数	4人
会議の議題	(1) 報告事項 第1回会議振り返りについて ①市民協議会の名称変更について ②クールシェアの実施状況について 市民協議会の各イベントへの参加結果について ①親子環境教室について ②スポGOMIについて ③花と緑と環境フェアについて 次期地球温暖化対策実行計画の策定について (2) 協議事項 いせさきGX推進に関する提案について
会議資料の内容	資料1 スライド会議資料 資料2 親子環境教室まとめ 資料3 スポGOMIまとめ 資料4 いせさきGX推進に関するご提案 その他 そもそもGXとは何でしょうか?
会議における議事の経過及び発言の要旨	1 開会 2 議事 (1) 報告事項 第1回会議振り返りについて ①市民協議会の名称変更について事務局から説明 意見なし 第1回会議振り返りについて ②クールシェアの実施状況について事務局から説明 会長：皆様からご意見はありますか。

委員：利用者の実態などがわかりました。
調査ありがとうございました。

市民協議会の各イベントへの参加結果について

①親子環境教室②スポGOMI③花と緑と環境フェアについて 事務局から説明

会長：質問など、ご意見ありますか。

委員：スポGOMIについては、初回ということもあるかもしれませんが、ごみの集計が間延びしていました。その時間を利用して、GX推進課が何をしている課なのか、参加団体がどのような活動をしているのか、ということを発表する時間として活用するのがよいのではないかと思います。

会長：大勢来ていたので、ごみの分別など、集計に時間がかかってしまうのは仕方ない部分もあるかもしれませんが、いい意見だと思います。
また、スポGOMIを、いせさきまつりの後や、ゴールデンウィーク中に華蔵寺公園で開催するなど検討してもいいかもしれません。

委員：アンケート結果で、どこでイベントを知ったかという項目があり、市からの連絡や職場からの勧奨とどのようなものか知りたいです。

委員：会員向けの一斉メールや、花火の協賛関係者に対して声掛けをしました。

委員：企業に呼び掛けたのはよかったと思います。
また、親睦会のような形で参加を促せると思いました。

委員：声掛けは大切ですね。

事務局：市からの声掛けとしては、関係している企業などに行っていました。

委員：個人枠で参加できるようにするといいいのではないのでしょうか。個人枠で参加した人同士でチームを組むなど、コミュニケーションを図れると思います。

委員：スポGOMIの参加人数としては、200人くらいが最大かと思います。景品が豪華になると人が集まりすぎてしまうし、400人から500人集まると運営自体が難しくなってしまうのではないのでしょうか。
また、欲を言えば運営団体に任せるのでなく、市民主体で運営できれば理想的だと思います。

会 長：今後、市民主体でやっていく機運が高まっていけばよいと思います。

委 員：スポGOMIは、子供の参加者が少ないのが残念でした。
でも、当日は、熱中症になる方がいなかったのも、よかったと思います。

委 員：環境フェアに関して、一つ意見があります。
先日、伊勢崎市の姉妹都市であるスプリングフィールドを訪問しました。よい機会なので、私は環境対策について注意深く見ましたが、大学、教会、スタジアムなど、料理やドリンクが持ち帰られることもなく、大量に残され、ごみ箱にそのまま捨てられており、分別などもきちんとされていないようでした。
また、休日の大学に訪問しましたが、誰もいない部屋のエアコンや電気がついたままでした。
帰国後、環境フェアに参加し、環境に対する取り組みの素晴らしさをアメリカの人たちにも見せたいと感じましたので、スプリングフィールドの方々環境フェアに参加にできるように、検討してほしいと思います。

会 長：アメリカでは、スタジアムのごみを拾うと、仕事を奪うと言われるそうです。そこには文化の違いなどもあるかもしれません。

委 員：州によって考えは違うでしょう。オレゴン州のポートランドは街がきれいで、生ごみを緑の箱に入れて、堆肥化して格安で販売するなど、循環型社会が20数年前から築かれています。

委 員：親子環境教室では、伊勢崎市のごみを出す量が群馬県の平均値より多いとのデータがありましたが、枝木をきちんとリサイクルするルートに乗せれば、ごみの量は減ると思います。
また、埋め立て地もごみでいっぱいになりつつあり、危機感を抱いています。生ごみの堆肥化で、市民に還元するのはよいと思います。

事務局：伊勢崎市では、たい肥式処理器などの補助金制度は、以前から実施しています。

次期地球温暖化対策実行計画の策定について事務局から説明。

委 員：温暖化ガスの削減目標の数値は一般的です。企業が増えれば、実質排出量は増えるので、見せ方の工夫などは必要かと思います。

(2) 協議事項

会 長：いせさきGXに関する提案について神部副会長からお
願います。

いせさきGX推進に関する提案について神部副会長から説
明。

会 長：ご意見ありますか。

委 員：市民サポーターの登録について、桐生駅には、市民活
動の拠り所となるような、市民活動推進センターとい
うものがあります。活動をする際に、運営をサポート
してくれます。登録というよりも、サポートし合える
ような場所となっています。

委 員：緋の郷に登録しているボランティア団体は文化系が多
く、GXに特化したものは少ないと思います。また、
高齢の方が多いイメージです。越谷市の取り組みなど
はいいと思います。

委 員：どんな団体が活動を行っているか、わかりづらい気が
します。いろいろな団体と手を繋いでやっていきたい
が、手を繋ぐ場所もないと感じています。

委 員：企業やボランティアなどの団体がうまく手を繋いでい
ると思うので、桐生市の例は参考になると思います。

委 員：市民ボランティアに参加したい方は多いのではないで
しょうか。

会 長：提案になりますが、協議会のメンバーで勉強のため、
視察に行きましょうか。事務局とすり合わせをして、
3月までには実施したいと思います。

3 その他

松島会長からGX（グリーントランスフォーメーション）の
定義について説明をいただいた。

4 閉会